

●教育学部カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学教育学部は、教員養成大学としての使命と教育目的等に沿った人間形成を行うために、次に掲げる能力・力量を積極的に培うことを目指して教育課程を編成・実施します。

○基礎科目や教養科目を履修することで、自分や他者や社会を理解する広範な視点を形成し自律できる。

○専門教育科目を履修することで、学芸の軸となる視点を身につけて教育に活用できる。

○特に教職や実地教育に関する科目を履修することで、教員として豊かな人間性や社会性を身につけ、使命感や教育的愛情をもって教育諸課題に対応できる。

●教育学研究科カリキュラム・ポリシー

教育学研究科では、教育に関する広い視野と深い専門的な学識の上に、教育の理論と実践に関する優れた能力・力量をそなえた教育者を養成するために、以下の科目群により教育課程を編成しています。

- 1 現代の多様な教育的諸課題を理解し、それらの諸課題に対応する力をえるための科目群
- 2 各分野の専門的な研究を深めるための科目群
- 3 教育に関する理論と教育実践とを架橋するための科目群
- 4 教員としての教育実践力を高めるための科目群
- 5 1～4を集大成して、主体的な研究力や課題探究能力を備えた実践的な教育力の獲得をはかるための課題研究及び修士論文

●連合教職実践研究科カリキュラム・ポリシー

連合教職実践研究科では、教育の理論と教職の実践との架橋を通じて、教職に関する高度な専門的知識と実践的指導力を統合的に有する教員を養成するために、以下の科目群による教育課程を編成しています。

1. 教職の専門性を体系的・総合的に育成するために、共通必修科目として置かれる5領域10科目からなる「教職コア科目」群
2. 高度な授業力、生徒指導力、学校経営力を育成するために、各コースの必修科目として置かれる「コース専門科目」群
特に主体的に理論と実践の融合を図るため、高度化実践研究(修了論文)をコース専門科目群に置く。
3. 学校での実務的経験を通して教職の実際について総合的に理解を深め、実践的指導力を高めるために、1年次と2年次とに分けて置かれる「実習科目」群
4. 個々の課題意識をさらに深め、幅広い学識と高い実践力を育成するために、選択科目として置かれる「専門科目」群